

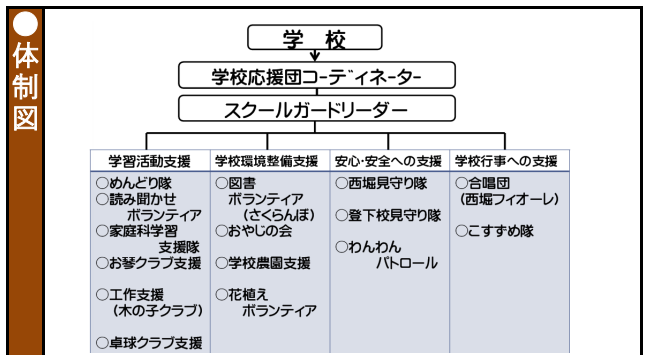
こんな活動です

# 『学校・家庭・地域の絆を深める輝く学校づくり』 ～子供が輝き、保護者・地域が輝く、教師が輝く、学校応援団活動～

埼玉県新座市	●活動名 西堀小学校学校応援団	●関係する学校名 新座市立西堀小学校
--------	--------------------	-----------------------

協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	14 学級	のべ児童・生徒数	375 人
活動区分	学校支援活動	—		—		—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数 1人		
学校運営協議会	指定・設置日 平成30年4月1日設置		ボランティアの数	延べ登録人数 150人	企業・NPO等との連携	無	
参考URL	<a href="http://www.c-niiza.ed.jp/e-nishibori/">http://www.c-niiza.ed.jp/e-nishibori/</a>						

●連絡先	新座市教育委員会教育支援課	☎ 048-477-7142
------	---------------	----------------



●活動の概要・経緯

西堀小学校の学校応援団は、「学習活動支援」「学校環境整備支援」「安心・安全への支援」「学校行事への支援」の4つの部会、15の活動団体が組織され、児童の健全育成を目的とした活動を行っている。元保護者の方が、児童卒業後も学校応援団コーディネーターとして教育活動に関わり続け、学校を支えている。年に4回学校応援団会議を開き、活動団体同士の横の連携が図れるようにして活動が持続するように工夫している。土曜日は地域の方が主体となり、「新座っ子ぱわあっぶくらぶ」事業の一環として休日の子供たちの活動を支援している。

また、地域の方々に支援していただくだけでなく、感謝の会を開いたり地域の行事に参加したりと、学校からも主体的に地域の方と関わることで互恵性のある取組となり、地域との絆や所属意識が育まれている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①地域の方々による主体的な活動
  - ・学校応援団会議を年に4回実施し、複数の活動団体が合同で集まる機会を設け、学校応援団員同士の横の繋がりを育てるようにしている。
  - ・わんわんパトロール(犬の散歩時に、子供たちの安全見守り)。
  - ・おやじの会(運動会テントの片付け、町内会秋祭りの出店、草取り)。
  - ・「新座っ子ぱわあっぶくらぶ」事業として、「お琴」「忍たま(体づくり運動)」くらぶの実施。子供たちに土曜日の多様な活動の提供。
- ②めんどり隊とこすずめ隊による生活指導、サポート
  - ・めんどり隊(地域の方々による1年生の給食配膳・片付け、清掃活動の補助)やこすずめ隊(低学年懇談会時の図書室での読み聞かせや折り紙教室による見守り)の活動を通じた児童との交流。

### 【実施に当たっての工夫】

- ①ユニークなネーミング(めんどり隊、こすずめ隊、わんわんパトロール)により、児童にも親しみをもってもらえるようにしている。
- ②学校応援団の方々への感謝の会を年間指導計画に位置づけ、継続した関わりが持てるようにしている。
- ③和太鼓クラブ、お琴クラブ、ダンスクラブの児童が西堀町内会秋祭りや特別養護老人ホームの夏祭りに参加し、児童も積極的に地域と関わっている。
- ④学校応援団めんどり隊が、校舎内に設置している高齢者いきいき広場利用の高齢者と連携し、「昔遊びの会」を実施し、地域と児童の橋渡しをしている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・学校応援団が、様々な教育活動で支援をすることにより、地域との連携が深まっている。
- ・学校応援団のメンバーと児童が交流する機会が増えたことにより、地域の方と顔なじみになり地域の方に見守られているという安心感が生まれている。
- ・児童との関わりを多く持ったり感謝の会を開催したりしたことで、地域の方々の自己肯定感が高まり、継続して活動していただけるようになっていく。
- ・学校応援団会議を年4回定期的に開催することにより、学校応援団員同士の連携が強化されるとともに、人間関係が築かれ活動を継続していただける方が多くなっている。

## ●その他

- ・平成29年度は「おやじの会」が中心となって、冬の星の天体観測会を実施した。市の生涯学習スポーツ課の職員を講師に招き実施し、今後も引き続き活動していく。



給めんどり隊の配膳支援の様子



こすずめ隊の懇談会時の見守り活動の様子